

乾式二重床技能者の育成

一般社団法人 フローリング協会

活動期間：2020年1月～2022年12月

発表日：2023年3月1日



一般社団法人 フローリング協会

フローリングの生産、販売、施工に携わる企業の社会的・経済的地位の向上を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的として次の事業を行います。

- 1 会員相互の連絡、融和、親睦及び地位の向上
- 2 フローリングの生産、販売、施工に携わる企業との情報交換
- 3 フローリングの生産、販売、施工に係る所官庁・団体に対する協力、要望、及び提言
- 4 フローリングの生産、販売、施工に関する調査、研究、普及啓発、教育、研修
- 5 前各号に附帯又は関連する一切の事業

一般社団法人 フローリング協会

団体会員

中日本フローリング協会

施工部会

床製造無垢部会

床製造複合部会

置床・鋼製床部会

建販商社部会

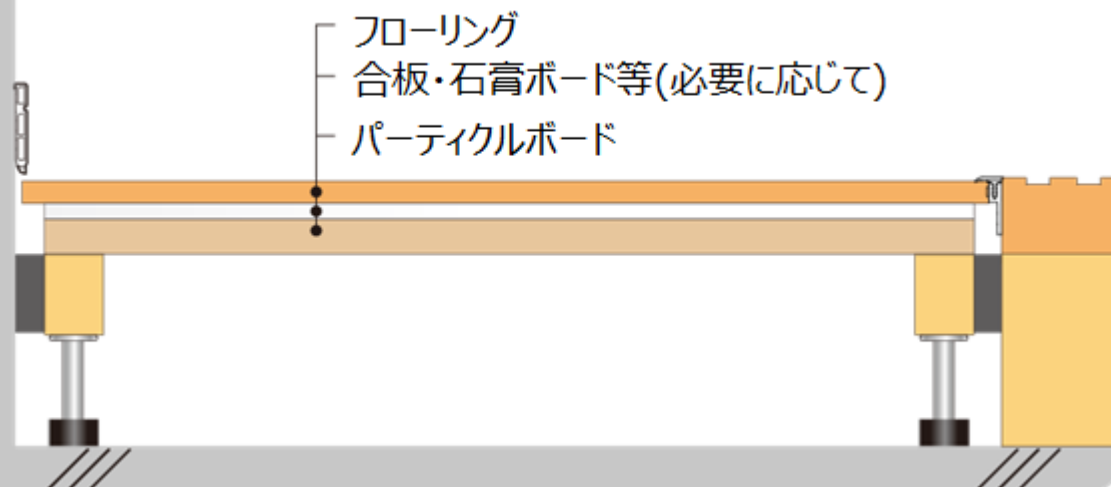
乾式二重床とは

現在主流の二重床（乾式二重床）は、コンクリートスラブなどの躯体の上に防振ゴムの付いた支持脚で床を浮かせる床システムです。

1960年代以降の日本における、コンクリート造の集合住宅の普及と共に誕生し、現在はマンション等を中心に多様な建築物で採用されています。

未来に向けた持続可能な建築にとって、

二重床は高機能な床システムとして注目を集めています。



乾式二重床に求められる技能

【安全性】 床の段差をなくす

確認すべきこと	必要な技能
仕上材の種類の確認	図面を必ず確認する
基準墨、SD、サッシ、UBの施工レベルは規定以内か	前工程の他工種の施工が適正か判断する
設備配管は規定通りに施工されているか	施工前に確認して問題があれば報告する
必要な箇所に開口をあけているか	既定の施工ができているか振り返る

乾式二重床に求められる技能

【遮音性】 軽量衝撃音の軽減

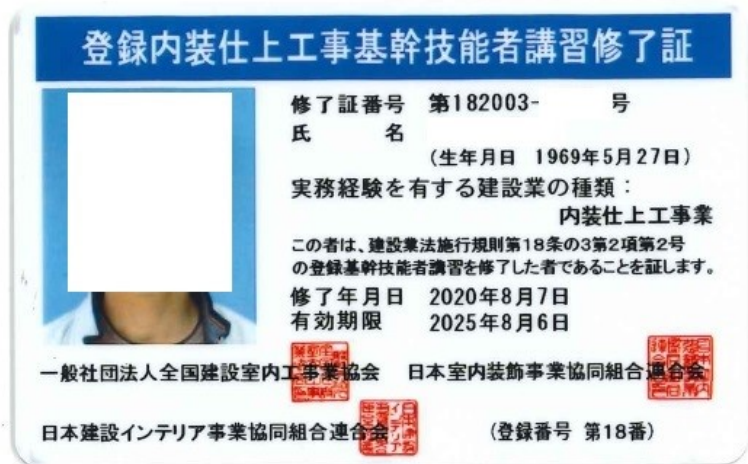
確認すべきこと	必要な技能
システムネダの使い分けは基準通りか	使用基準を理解する
支持脚の使い分けは基準通りか	使用基準を理解する
必要な箇所に補強をしているか	使用基準を理解する
パーティクルボードと壁の隙間は適正か	既定の施工ができているか確認する
合板と壁の隙間は適正か	既定の施工ができているか確認する

乾式二重床の工程

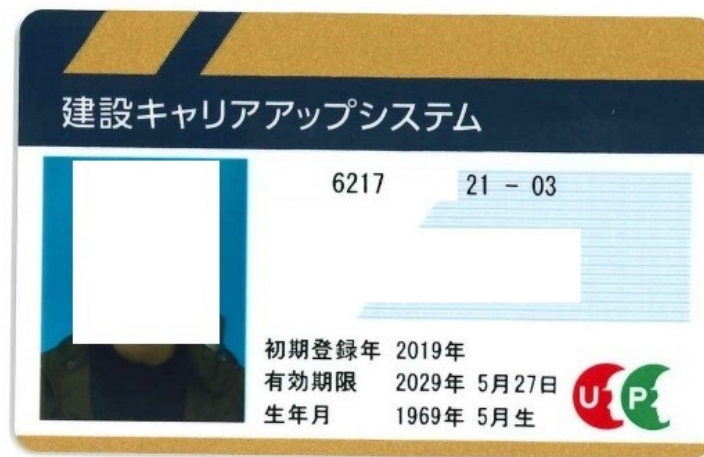
● 基本施工手順



技能者の資格



登録内装仕上工事基幹技能者講習修了証



建設キャリアアップシステム技能者ゴールド

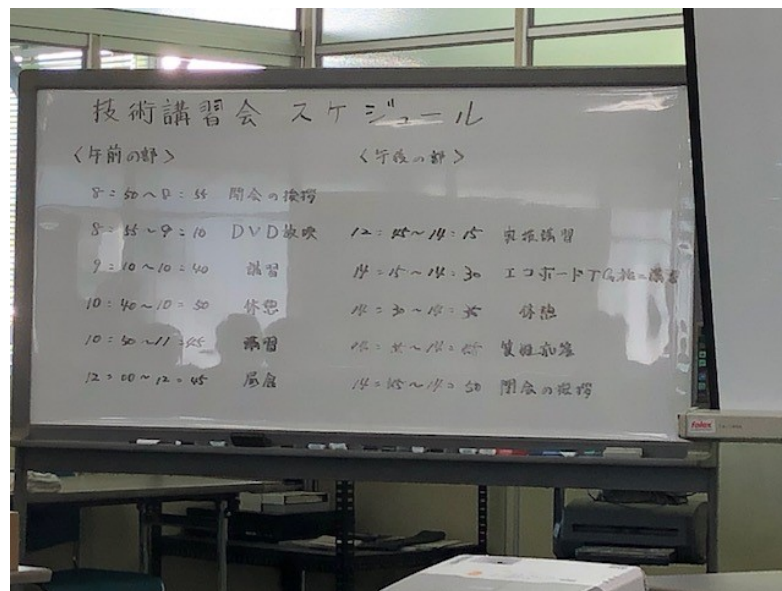
技能講習会



講習会：令和3年12月9日(木)

会場：泰成株式会社 研修センター

(長野県駒ヶ根市)



技術講習会スケジュール

技能講習会



泰成株式会社

常務取締役 久保田様



講習の様子

参加技能者数：10名

(うち筆記試験2名、実技試験8名)

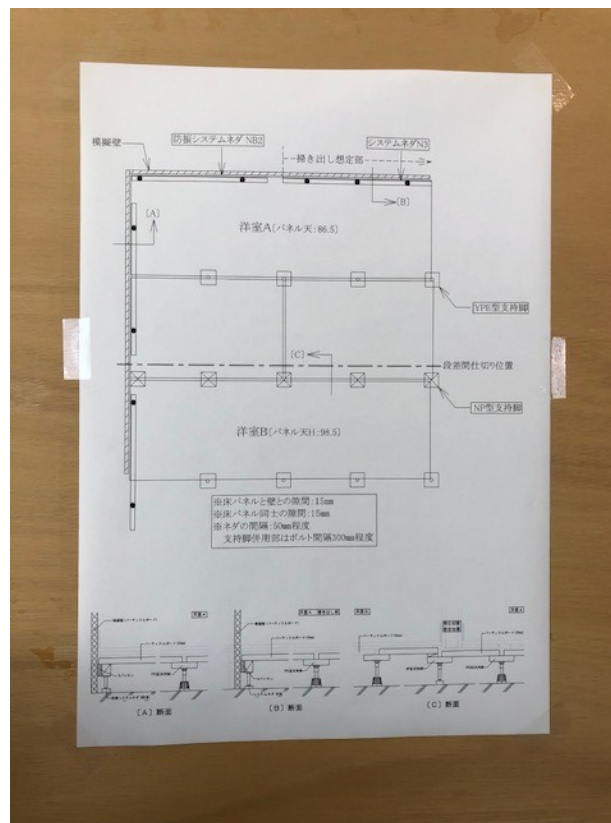
当協会幹部役員：6名

技能講習会



技能試験会場

4つのブースに分かれています



実技課題内容

技能講習会



課題材料

必要な材料を選んで施工します



技能講習会



前半、後半組に分かれて、それぞれのブースで準備をします

技能講習会



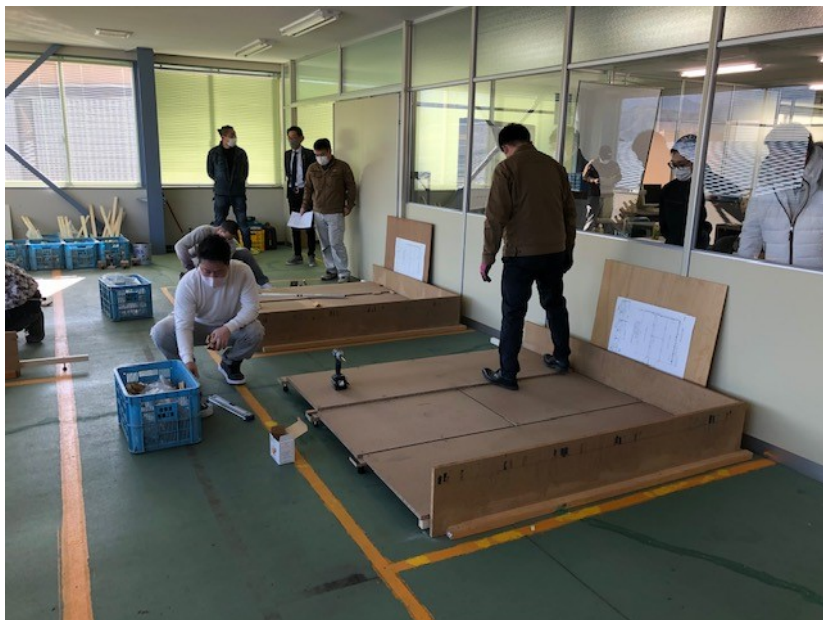
課題を確認しながら施工していきます

技能講習会



施工が終わると検査官が採点します

技能講習会



実際に乗って不具合がないかチェックします



実技試験後の質疑応答

試験合格者には後日認定証が配布されます

技能講習会



試験後、泰成株式会社様のご厚意により、下平工場の見学をさせていただきました

技能講習会



集合写真

技能講習会



認定証

今回無事に全員合格することができました

受講者の声

受講者A氏(21歳、経験年数2年)

沢山の人がいる中での施工試験はとても緊張してしまい、いつも通りにはできなかったが、とても良い経験ができた。参加をしてよかった。

受講者B氏(34歳、経験年数12年)

他の会社の職人さん達の技術を見ることができたことは大変貴重なことだと思う。

今年は技能検定1級を受験する予定なので、それまでに技術を磨き、合格したい。

受講者C氏(27歳、経験年数半年)

床業界に入ってまだ日が浅いため、本研修に参加し大変勉強になった。

支持脚や根太に関し、普段なんとなく理解していたことが、改めて製品の種類による特性を再確認する事ができた。また、施工要領を詳しく教えていただいたことで新たな発見があり、知識の幅が広がったと感じる。また参加したいと思った。

今後の活動展望

床下地の技能者が登録基幹技能講習を受講できるようにするため、そして登録基幹技能者として登録されるよう、他の関連団体企業と連携し、活動を展開していく予定です。

また、熟練の技能者は今回の講習会を受けたことで、全てに理由があることを理解し、注意点を改めて気づくことができた実感していました。

技能者自身も自らのスキル、レベルが向上していくことで得られるメリットを理解して頂けるよう啓蒙していきたいと思えます。

